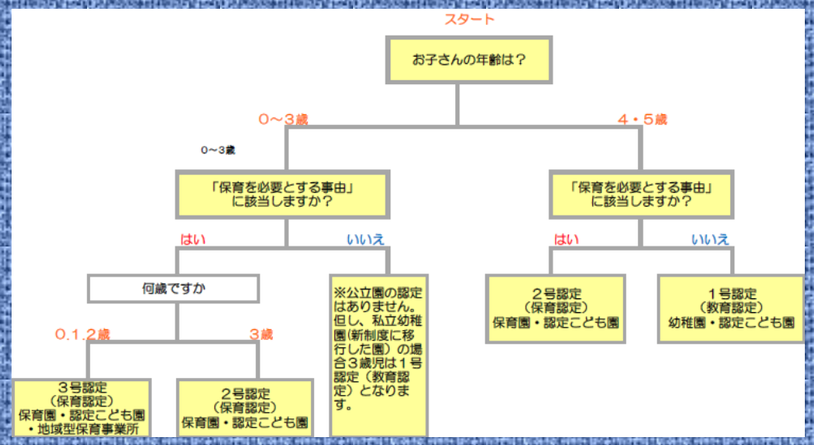
四日市市

乳幼児教育・保育ビジョン

保育園・幼稚園・こども園の一日の流れ

	4・5歳児 教育認定（1号認定）	4・5歳児 保育認定（2号認定）	3歳児 保育認定（2号認定・3号認定）	0・1・2歳児 保育認定（2号認定・3号認定）
(7:00) 7:30		◆登園	◆登園	◆登園
	保護者の就労により順次登園			
8:30	◆登園			
9:00	◆自ら選んでする活動			◆自ら選んでする遊び
	先生や友だちと一緒に、ままごと 積み木　絵画・制作　砂遊び おいかけっこ　などで遊ぶ			◆おやつ
10:30				◆自ら選んでする遊び
	◆クラス全体でする活動			
	4・5歳児 クラスみんなで、歌　合奏　集団遊び　体操などを楽しむ		3歳児 クラスみんなで、簡単な集団遊び　リズム遊び　楽器遊びなどを楽しむ	
11:30				◆給食
	◆昼食			
	保育園・こども園は、給食。 幼稚園は、弁当・週2回のデリバリー給食			
	◆自ら選んでする活動		◆午睡（3歳児）	◆午睡
14:00	今日を振り返り明日に期待を持つ（歌　絵本　明日の活動についての話など）			
	（保育認定の4歳児は9月まで午睡）			
14:30	◆降園	◆おやつ	◆おやつ	◆おやつ
15:30		◆順次降園 ◆好きな遊びをする	◆順次降園 ◆好きな遊びをする	◆順次降園 ◆好きな遊びをする
18:00 (19:00)				

あなたのお子さんの認定区分は？（四日市市の公立園の場合）



編集　発行
四日市市　こども未来部
初版　2018年8月
改訂　2020年8月

遊びを通して、「生きる力」・「共に生きる力」の基礎を育てています

本市では、新たなまちづくりの指針としての「四日市市総合計画」が、令和２年度から１０年間を計画期間として策定されています。

その基本構想では、四日市未来ビジョン「ゼロからイチを生み出すちから　イチから未来を　四日市（イチ）」のもと、将来都市像の中の「子育て・教育安心都市」の実現に向け、

基本目標「四日市で子どもを産み、育てたい、四日市で学べてよかったと思える、子どもと家族にやさしいまちづくりを目指します」と掲げられています。

この基本目標に向けて、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な乳幼児期の保育・教育の充実を図ることをめざし、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領をもとに乳幼児期のビジョンを策定しております。

四日市市総合計画

基本構想　将来都市像「子育て・教育安心都市」

基本計画　基本的政策 NO1
子どもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備
◎就学前教育・保育の充実

基本計画　基本的政策 NO2
夢と志を持ったよっかいちの子どもの育成

四日市市
乳幼児教育・保育
ビジョン

四日市市乳幼児教育・保育ビジョン

本市の保育園・幼稚園・こども園においては、「生きる力・共に生きる力の基礎を育む」という基本理念のもと、保育者などとの信頼関係を基盤にし、次の3つの資質・能力を育成します。

★「知識及び技能の基礎」
（豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、わかったり、できるようになったりする）

★「思考力・判断力・表現力等の基礎」
（気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする）

★「学びに向かう力、人間性等」
（心情・意欲・態度が育つ中で、より良い生活を営もうとする）

そして、 将来においても、自立した人間としてたくましく生き、他者と協働し、未来を切り開いていくことのできる「輝く よっかいちの子ども」の育成を目指します。

基本理念　生きる力・共に生きる力を育む

目指す子どもの姿　輝く　よっかいちの子ども

子どもはありのままの自分を受け止めてもらえることの心地よさを味わい、保育者等への信頼をよりどころとして、一人ひとりがかけがえのない存在であることを感じとっていきます。人との相互的なかかわりにより育まれていく自尊感情は、子どもの将来にわたる心の基盤を培います。

子どもの生活の中心は、遊びです。遊びは、乳幼児期の重要な学習の場であり、心を育てる場です。子どもたちは、「おもしろい」「たのしい」というような心が揺り動かされる豊かな体験をする中で、友だちとのかかわり方や人として生きるためのさまざまなことを学びます。

≪めざす子どもの姿≫

輝くよっかいちの子ども

遊びから生きる力を
学ぶ子

≪具体的な子どもの姿≫

豊かな心と丈夫な身体を
持つ子

豊かなかかわりあいを
もてる子

≪遊びの中の学び≫
幼児教育において
育みたい資質・能力

考える・工夫する・表現する

感じる・気づく・わかる

やってみる

生命の保持

健やかに伸び伸び
と育つ

身近な人と気持ち
が通じ合う

身近なものと関わり
感性が育つ

情緒の安定

遊びの中での学び…子どもたちは遊びの中でいろいろなことを学んでいます

0 歳

1～2 歳

3～4 歳

5～6 歳

乳児保育にかかわるねらい及び内容

- 身近な人と気持ちが通じ合う
- 身近なものとかかわり感性が育つ
- 健やかに伸び伸びと育つ

だいすき

だっこされ、見つめ合ったり優しく話しかけてもらうことで情緒の安定につながります。

ねえ、こっち見て

自分の発見や欲求を喃語や指さしで知らせます。「みつけたね」「うれしいね」と大人に応えてもらうことで特定の人と関わろうという気持ちが育ちます。

散歩は　楽しいな

安心できる人と場所で、見たり触ったりする機会を通して、周りへの興味や好奇心が芽生えてきます。

「どれにする」「どっちがいい」

「いやいや」「じぶんで」と自己主張をしたときに、身近な大人に「そうだね」と気持ちを言葉にしてもらったり、自分で決めたりする経験が意欲につながっていきます。

まねして・みたてて・〇〇ごっこ

掃除機をかける真似、コップを持って飲む真似、積み木を電話にみたてて話したり、「どうぞ」「ありがとう」とやりとりしたりする中で、言葉を覚え、友だちと遊ぶ楽しさを知っていきます。

わたってジャンプ　たのしいね

またぐ、くぐる、走る、よじ登る、押すなど全身を使う動きや、つまむ、丸める、めくるなど手や指を使う遊びを通して自分の体をコントロールする力がついていきます。

「こうしたいな」「それもいいね」。

友だちと遊ぶ中で自分の思いをだし、葛藤や折り合いをつける経験は、自分の気持ちを調整することにつながります。

なりきってあそぶ

大好きなものになりきり、必要なものを作ったり、友だちといっしょに演じて遊ぶなかで豊かな感性、表現力が育っていきます。

たいせつなもの

自然にかかわる中で、心動かす経験を重ね、命あるものを大切にしようという気持ちが育っていきます。

「いらっしゃい」「こちらはいかがですか、おいしいですよ」

いろいろな人とかかわる中でうれしさや役に立つ喜びを感じていきます。また言葉のやり取りを楽しむ中で、人の話を聞いたり自分の思いを言葉で表現しようとします。

「こうやったらどうかな」

物の性質や仕組みに気づき、考えたり工夫したりするとともに、仲間と一緒に思いを伝え合って試行錯誤しながら、実現する喜びを味わっていきます。

「体を動かすってたのしいな」

体を動かす心地よさを感じるとともに、ルールを考えたり、場所を工夫するなどして自分たちで遊びを進めていこうとします。遊ぶ中で様々なことを学び合っています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

- 言葉による伝え合い
- 数量や図形、標識や文字等への関心・感覚
- 社会生活とのかかわり
- 豊かな感性と表現
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 思考力の芽生え
- 自然とのかかわり・生命尊重
- 健康な心と体
- 自立心

幼児教育において育みたい資質・能力

- 考える・工夫する・表現する
- 感じる・気づく・わかる
- やってみる

小学校教育

- 思考力・判断力・表現力等
- 知識及び技能
- 学びに向かう力・人間性等

子どもの命が守られ、愛され、信頼できる関係を大切にしています

子どもは、安全で衛生的な環境（生命の保持）の中で、“笑ったら笑い返してくれる”“泣いたら「どうしたの」と聴いてくれた”など自分の思いや気持ちをうけとめてもらえるという安心感（情緒の安定）が生まれます。さらに、身近な人とのかかわりの中で人と気持ちが通じ合い、信頼関係ができていきます。そして“自分のことが好き”という自尊感情が芽生えます。このような愛着関係を基盤にして心身の健やかな成長を促していくことを大切にしています。

乳幼児教育・保育の充実に向けて取り組んでいます

★大切にしている５つのポイント

★地域・家庭との連携
地域に開かれた園を目指します。保護者と共に子どもの成長を確認し、子育ての喜びを実感していく関係を作っています。

★子育て支援
0 歳から就学前までの親子を対象に体験保育や行事への参加、子育て相談を実施しています。

★保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校との連携
乳幼児教育・保育で、大切にしていることを、小中学校へ発信し、共有していきます。子ども同士の交流や、職員間の連携を図り、体験、行事参加などを行い学びにつなげています。

★人権
一人ひとりが、かけがえのない存在と実感し、さまざまな活動を通してお互いの個性を尊重し合い、人（他者）との豊かな関係を築き育みます。

★特別支援
一人ひとりのよさを伸ばし、共に育ち合う仲間づくりを目指します。関係機関と連携をとって、子どもを理解し、教育・保育を進めていきます。

小学校教育とのなめらかな接続を図っています

いつも気持ちを受け止めてもらえるという安心感や信頼感に基づいた関係の中で、子どもたちは夢中になって遊び、豊かな経験と体験を重ね、興味や意欲を広げていきます。園では、乳幼児期にふさわしい遊びや生活が展開できるよう環境を工夫し、子どもが主体的に遊びに関わり、試行錯誤しながら学んでいけるようにしています。また、その学びが小学校教育とのなめらかな接続となるよう努めています。